

目 次

第1部／報 告

地域における生涯教育——地域の新しい文化創造——

瀬沼克彰… 1

はじめに…………… 1

I 生涯教育の活発化した要因…………… 2

1. 低成長経済の浸透…………… 3

2. 技術革新と産業構造の変化…………… 4

3. 高学歴社会の到来…………… 5

4. 余暇時間の増大…………… 6

5. 高齢化社会の到来…………… 7

II 人々の学習意識と行動…………… 9

1. 学習欲求の高まり…………… 9

2. 学習希望の状況…………… 12

3. 学習活動の現状…………… 14

4. 地域における学習活動…………… 17

III 生涯教育事業の現況…………… 20

1. 地方自治体の生涯教育事業…………… 21

(1) 施設の概況…………… 21 (2) 職員、運営体制…………… 27

(3) プログラム、利用者…………… 28 (4) 情報提供…………… 31

2. 民間企業の生涯教育事業…………… 32

(1) 施設の概要	32	(2) 職員、指導者	34
(3) 運営（プログラム）	35	(4) 情報、宣伝	37
3. 大学開放講座	38		
(1) 大学開放講座の概要	38	(2) ユニークな事例	40
(3) 開放講座の常設化	41		
IV 地域の文化創造を求めて	42		
1. 生涯教育実践の課題	42		
2. 施設の整備	44		
3. 指導者の養成	46		
4. 自主グループの育成	48		

第2部／座談会

新しい成人教育の波

——カルチャーセンター方式をめぐる—— 50

出席者 瀬沼克彰 矢野俊一
山本和代 青井和夫
司会 松原治郎

I はじめに——学歴社会から学習社会へ	51
II 成人学習活動の動向	53
1. 生涯教育の現状	53
2. 高い学習ニーズとその内実	57
III カルチャーセンターと大学開放講座	60
1. 朝日カルチャーセンターの成立と展開	60
2. カルチャーセンターでの学習の実際	62
3. 全国的な動きと地域文化への関心	64
4. 社会教育はこれにどう対応しているのか	65

5. 大学開放講座の動き	67
6. 指導者・講師の問題	69
7. 大学とカルチャーセンターとの違い——柔構造の教育システム	71
IV 学習と人間形成	74
1. 経費負担と学習意欲——どうすれば学習意欲が高まるか	74
2. 主婦・高齢者の学習指向の特徴	77
3. 個人の学習から地域の文化創造へ	80
4. 受けることから与えることへ——指導者の条件	82
5. これからの人間開発のあり方	84
V おわりに	87

資料

1. 婦人学級の学習内容・学習方法	89
2. 地域社会における学校の役割	90
3. 学習活動の情報の入手程度	90
4. 内職・パートをする理由	91
5. 成人の教育・学習	92
6. 老後の生きがい	92